

THE MOST IMPORTANT PERSON
IN THIS HOSPITAL IS
THE PATIENT

巻頭特集 SPECIAL 精神科領域専門研修



Special 特集：精神科領域専門研修

豊富な臨床経験と研鑽により 優れた精神科医を育成する。

躁うつ病や統合失調症、認知症、アルコール・薬物依存など、さまざまな症例を扱う精神科。幅広い領域を1カ所で経験できる研修機関はなかなかありません。肥前精神医療センターは、日本で初めて“精神科病棟の開放化”を実現。精神科医療に求められるほとんどの機能を備えた全国でも数少ない「多機能（オールラウンド）型精神科医療機関」として活動しています。

今回は、精神科指定医を目指す後期臨床研修医に多彩なプログラムを提供している肥前精神医療センターの先生方にお話をうかがいました。

全国各地から集まる仲間たちと切磋琢磨しモチベーション高く学べる環境を提供。



肥前精神医療センター 臨床研究部長

上野雄文

精神科研修といえば“肥前”

当院は昭和20年、国立肥前療養所として開設されました。当時の常識では考えられなかった精神科病棟の開放にいち早く踏み切り、精神科医療の進歩に貢献する人材を輩出してきました。

今では東京ドーム6個分の巨大な敷地に“児童思春期”、“精神科スーパー救急”、“精神科リハビリ”、“地域社会精神医療”、“アルコール・薬物依存”、“認知症”、“神経症”、“精神科身体合併症”、“司法精神医学”など、現代精神医療に求められるほとんどの機能を備えている国内有数の精神医療機関に発展しています。

診療活動だけでなく、研究・教育・研修においても長い歴史と豊富な実績があります。昭和50年代からレジデント（後期臨床研修医）の受け入れを開始。学閥に関係なく全国から多くの方が研修しています。約1年で精神保健指定医取得に必要な症例が経験できるのはもちろんのこと、大学医局からもモチベーションの高い若手医師が自ら希望して来るほど一般の精神病院や大学ではなかなかできない研鑽を積むことができます。

各自の希望に応じたオーダーメイド研修

当院の研修の特色として「オーダーメイド研修」があります。人にはそれぞれに大切にしたい思いがあり、各自の強みや弱み、専門医取得後の進

路もさまざまです。そこで、年度初めに1人1人と話し合い、標準的なプログラムをベースに年度ごとの重点課題や目標を個別に決めています。将来、児童、司法、認知症、嗜癖などの専門領域、あるいは臨床研究に進むために必要な研修をオーダーメイドで提供しています。また、半期ごとの話し合いでは、到達度だけでなく、健康状態や要望を確認し、安心してプログラムを継続できるようにサポートしています。

こういう研修ができるのも全国から多くのレジデントが集まってくるからです。地域性から北部九州出身者が多いものの、過去15年間では37の大学から120人以上の若手医師を受け入れてきました。同期も多く、研修だけでなく、飲み会や食事会などでも親睦を深めています。研修後、進路が違っても、全国各地に情報交換ができる仲間ができるのも当院での大きな魅力です。

ITを利用した研修システムを採用

平成22年には地上3階建の医師養成研修センターが完成しました。各種講演会や研修会が開催できる大ホール、症例検討会やカンファレンスを行うセミナールームのほか、最新設備を備えた精神科医師養成のための専用施設です。電子会議室が常設されており、開催される研修会などの内容は全国の機構病院ほか14施設にリアルタイムで発信

指導医の声1

新専門医制度にも対応。充実したプログラムでじっくり学べます。

当院の大きな特徴は充実した研修体制です。規模を縮小したり、専門分野を絞ったりする病院も多かったのですが、当院だけで研修が完結できる環境をあえて残しました。認知症、児童、依存症といった専門分野を削らず、救急病棟や重度心身障害者の「動く重心」の病棟がある点も特徴です。慢性期の病棟も2つあり、精神医療で重要な長期の患者さんにも対応しています。急性期の患者さんが退院できず、どうなっていくのか。そういう点もぜひ診てほしい。研修は正直、売上げにはならず、個人の実績にもつながりませんが、ずっと研修を大切にしてきました。

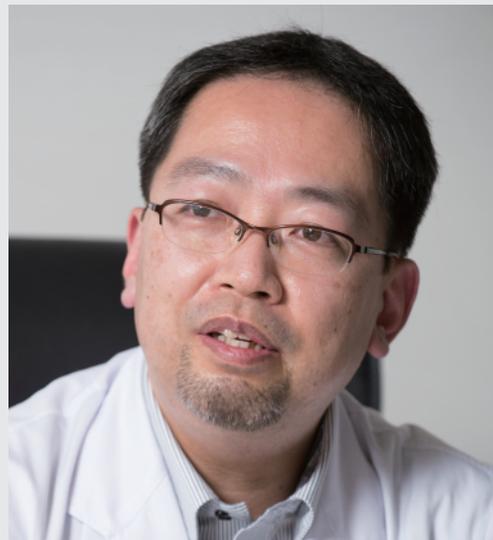
ただ、最初から大所帯だったわけではありません。私が来た20年近く前は行動療法で有名な先生がいらして、それを学ぶために来る人が多かったんです。約10年前から後期研修に力を入れ、現在のシステムをつくりあげてきました。

オーダーメイド研修が当院の特徴ですが、それも全国からたくさんの方が来るからこそです。各自の要望に応じていくうちに、今のプログラムに到達しました。新専門医制度にも対応していますが、長年の実践と試行錯誤からでき上がったものです。当院では昔から臨床を一生懸命や

る先生が多かったのですが、そこに研修が加わることにより、人がどんどん増えました。レジデントが少ない時期は、常勤医が患者さんの診療に追われていました。しかし、当院の研修が評価されるにつれ、レジデントが増え、患者さんを診てくれるようになり、結果、常勤の先生に余裕が出てきて、医師養成に目が向き、研修がさらに充実するという好循環が生まれたんです。上野先生が来られてからは研究にも力を入れ、研究に関わるレジデントが増えました。

研修はある程度、成果が出ていますが、指導医が与えるのではなく、レジデント自身が提案してつくりあげていくような研修に移行していきたいと考えています。将来、当院のレジデントマニュアルが全国の精神科を学ぶ人たちに役立つようになればいいなと思っています。

精神科医は患者さんの話をよく聞き、共感することが大事です。以前、ある先生が「患者さんにあわせていろいろな役を演じなければいけない」とおっしゃっていました。自分を臨機応変に変えていかないと、患者さんとうまく接することができない。私自身、まだまだですが、そうできるように努めたいです。精神科医療は、一般身体科と比べて、医学だけでなくさまざまな視点か



肥前精神医療センター 精神科医長
岩永 英之

ら診ていかないと改善・解決しないところがあります。それだけ奥深い医療だといえるでしょう。

最近の若い人たちは資格や経済面にとらわれがちですが、患者さんのためにできることは何か。ちょっと遠回りしても腕を磨き、そのプロセスの中で資格やお金がついてくる。そういうふうと考えてほしいと思います。精神科にはガイドラインはあるものの、答えがない。1人1人のオーダーメイドな医療にならざるを得ないんです。うまくいかない場合も一生懸命考えていく。自分で考える力を大事にしてほしいですね。

「ひぜん」の オーダーメイド 研修



肥前精神医療センター精神科専門研修プログラムローテーション例

1年目	2年目	3年目
ひぜん標準コース：肥前精神医療センターでの研修の醍醐味を最も味わえるプログラム。多くのレジデントがこのプログラムを受けて羽ばたいた。リエゾン研修の期間は3～12カ月、研修先は、佐賀県医療センター好生館の他、佐賀大学精神科、九州大学精神科、熊本大学精神科、福岡大学精神科で行うことが可能である。		
肥前精神医療センター		
総合	認知症	嗜癪
リエゾン研修		
児童		
ひぜん精神科専門コース：精神科の中でも将来の専門を決めているレジデントに好評なプログラム。3年目に研修する専門分野は、認知症、嗜癪、児童から選択する。2年目に研修するリエゾン、各専門分野の研修期間は相談に応じる。但し、専門研修に進むためには、2年目までにその他の症例等を修了していることが条件である。		
肥前精神医療センター		
総合	認知症	嗜癪
リエゾン研修		
児童		
肥前精神医療センター		
総合	認知症	嗜癪
リエゾン研修		
児童		
ひぜん司法精神医学専門コース：精神医学の中で、NHOでの養成を大きく期待されている司法精神医学に進むプログラム。		
肥前精神医療センター		
総合	認知症	嗜癪
リエゾン研修		
児童		
佐賀県医療センター好生館		
肥前精神医療センター		
司法		
ひぜん臨床研究コース：将来研究をしたい専攻医向けのプログラム。社会人大学院は、九州大学をはじめ、受け入れが可能で当院での勤務が可能であれば、どの大学でもよい。		
肥前精神医療センター		
総合	認知症	嗜癪
リエゾン研修		
児童		
社会人大学院		

されます。また、他施設の症例検討会などにも当院の会場から参加・試聴できる双方向システムを構築。九州にいながら、東北、関東、中部、沖縄など異なる文化圏の精神科医療が垣間見られるうえ、各領域の専門家が参加するため、質の高い貴重な場を経験できます。こうした環境は画期的で「ITを用いた多施設共同医師養成システム」として注目されています。

平成27年5月からは電子カルテを導入。電子カルテの項目に入力するだけで、臨床に重要な視点や忘れがちな部分が意識できるよう、研修を意識してつくりこみました。指導医をはじめ、他の医師の診療や他職種の患者さんへの関わりが瞬時に見られます。また、専攻医の治療の様子を指導医にも見てもらえるので、診療の質をあげる点でも有効に機能しています。

偏見と闘いつつ患者さんに寄りそう医療を

精神医療は患者さんと長く関わっていく医療です。これは持論ですが、ある意味で糖尿病や高

血圧と同じ疾患であると考えてほしい。薬を飲んでいればドンと悪くなることはない。しっかり服薬してコントロールしていけば、脳出血や脳梗塞を予防できるのと同じです。そういう認識を国民全体に持ってほしいですね。精神科には1度入ったら出られない、近寄りたくないというイメージや偏見がまだ残っていますから。

90年代から向精神薬の研究が長足の進歩を遂げ、精神科の治療はまったく変わりました。ここ20年でもかなりの人に高い効果をあげています。慢性の精神病で脳に構造的な変化を認める症例には著効とまでは行きませんが、たとえば初発の統合失調症の患者さんなどは非常に薬物反応性がよく寛解を得る時代になっています。ですから、早めに受診して早期に治療することが大事です。そのためにも精神科の敷居を低くしていく必要があります。昔の精神科とは違うという事実を知ってほしいですね。

糖尿病や高血圧と違い、病気だったけどあそこの病院で治ったとは言いません。黙っているケース

が大半です。精神科を受診して治療したことがオープンに言える環境になってほしいと思います。そうすれば家族だけで抱え込んでしまう悲劇も防げる。患者さんを見守りながら地域にお返しする。そんな暖かい社会が実現するのも私たちの使命かもしれません。

肥前精神医療センター DATA

- 所在地
〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津160番地
<http://www.hizen-hosp.jp>
- 病床数
504床
- 精神科専門領域研修プログラム
 - ・専攻医の募集人数8名
 - ・指導医数49名
 - ・症例数(年間)

外来患者数 F0:2260 F1:971 F2:971 F3:2146 F4/F50:2799 F4/F7/F8/F9:2912 F6:201 その他:1041
入院患者数 F0:565 F1:550 F2:1430 F3:707 F4/F50:282 F4/F7/F8/F9:361 F6:83 その他:204

指導医の声2

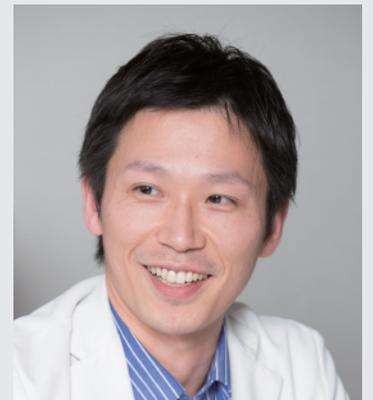
オーダーメイドの研修が強み。双方向の症例検討会はお互い勉強になる。

当院には時代や患者さんに合わせたオーダーメイドの治療をするという土壌があります。それがレジデントの希望に応じたオーダーメイド研修にもつながっているのではないのでしょうか。

毎週開く症例検討会も双方向になるように工夫しています。通常は症例を出す人が矢面に立たされますが、クイズ形式にして発表側が「さあ、この薬を使ったらどうなったでしょう」と問いかける。すると参加者も考えて意見を言う。一方的に教えるのではなく、議論

が活発になって両方が勉強になる。研修にもレジデントが自主的に行う部分を盛り込んでいます。

当院は症例が豊富で、指定医や専門医取得に必要な症例数を十分確保できますが、資格を超えた経験を積むこともテーマにしています。多彩な臨床経験を積んで、その先につなげてほしい。たくさんの仲間がいることも財産です。刺激し合いながら、モチベーション高く切磋琢磨できる環境です。お互いに助け合いながら、自分らしいキャリアを築いてほしいですね。



肥前精神医療センター 精神科
大坪 建



肥前精神医療センター 精神科
野路 恵里佳

専修医の声

仲間が多いから楽しくがんばれる。将来の見通しが持ちやすいのも魅力です。

児童精神を専門に学びたいと思い、当院を選びました。見学に来た時、非常に雰囲気がよく、先生方が優しいことに、まず感銘を受けました。専門病棟がいくつもあって精神科の全領域を網羅でき、指定医を取れることも決め手でした。

レジデントの人数が多く、同世代が10～20人いるので随分助けられています。仲間と悩みを共有できるのはありがたいですね。また、いろいろな段階の先生がいらして目先の目標と将来の見通しの両方が持てる点も

励みになります。看護師や心理士、コメディカルの人たちともつながりがあり、多くのことを教えられています。

ここに来る前は小児科と迷っていました。精神科を選んだ理由は、子どもだけでなく、支える側の大人への支援も必要だと思ったからです。親御さんの心理や精神状態の評価もしっかりやっていきたい。実際、病棟の患者さんを診て、外来に出ると見方がかなり変わります。初診も再診もじっくり時間をかけられますし、地元のない充実した環境で学べて本当によかったです。

Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

小倉医療センター



院長PROFILE

澄井 俊彦（すみい・としひこ）

1980年九州大学医学部卒業。

2000年九州がんセンター消化器内科医長、2007年小倉病院副院長を経て、2014年小倉医療センター院長に就任。

「この街にはこの病院があるから住みたい」と
思われるよう、患者さん主体の最適な医療を提供

当院の特色は、各診療科をセンター化し、診療科の枠を超えた連携をしながら垣根のない診療を行っていることです。2001年設立の「地域医療研修センター」は講演や研修のための最新設備を備え、職員や地域医師の生涯教育の場として活用しています。2004年には急患センターを併設。24時間切れ目のない医療を地域の方々に提供しています。各科のカンファレンスも充実しており、症例や研究発表、講師を招いての講演会なども開催しています。

当院が力を入れている分野は、成育医療です。小児科と、NICU、GCUがあります。2009年には地域周産期母子医療センターの認可を受け、地域になくはない診療科として信頼を集めています。また、小児神経疾患や小児外科での内視鏡下手術も当院の特色です。

もう一つの特徴は、身体合併症の精神科があることです。精神科は、国立病院機構からもクローズアップされている分野ですので、成育と精神科に関しては今後も続けていく覚悟で取り組んでいます。

研修については、初期研修、臨床研修に必要な内科、産婦人科、小児科、精神科がありますので、総合的にコモディジーズを診る病院として、最適だと思います。当院で全部面倒を見るかたちですから、他の病院に行かなくていいので、労力の無駄がない。無理もさせません。あらゆる診療科を満遍なく、無理なく無駄なく診る。

それが当院の方針です。

特徴としては、内科に回ってきた時には必ず、エコー検査を半年間練習してもらうことです。1週間に1回、放射線科の先生と一緒にいきますが、半年もすれば、ある程度診られるようになります。腹部エコーができる。これはとても重要なことだと考えています。内科、外科、婦人科など、どの科に行っても役に立つ手技だと思っているからです。

仕組みの1つとして、各科を回った時に指導医を1人つけるようにしています。内科だと半年間まとめて、昔の総合内科みたいな感じで、循環器も診れば呼吸器も診て、消化器も同時に診る。半年は全疾患を診ていきます。分けて診るのではなく、いろいろなところを担当して、それぞれの指導医がいる。病気にはその専門医がつきますが、トータルとしてもう1人、上に指導医がいるという体制を取っています。

研修医の方へのメッセージですが、1年目、2年目の経験というのは、自分の医師としての大きな道筋を決めることになるでしょう。手を抜くことなく、しっかりがんばってください。そして、臨床医になる人は、これからの時代は患者さんが退院した後、どんな生活をするのかということまで考えられるような医者になってほしいですね。なかなか難しいことですが、若い時には理解できないかもしれませんが、患者さんの生活も考えるという視点を是非持ってほしいと願っています。

小倉医療センター DATA

■ 所在地

福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘10番1号
http://www.kokura-hp.jp

■ 病床数

400床（一般350床、精神50床）

■ 診療科目

内科／精神科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／小児科／外科／乳腺外科／消化器外科／整形外科／皮膚科／小児外科／泌尿器科／産科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／放射線科／麻酔科

■ 研修の特色

臨床研究に必須な5つの主要診療科をすべて院内に有するバランスのとれた総合病院です。将来、どの科を専門にしても役立つ、特定の診療科に偏らない基礎的で幅広い研修を行います。内科6カ月、外科3カ月の研修は、専門診療科に細かく分割せず、1人の責任指導医が担当期間を通して1人の研修医を受け持ち、内科医・外科医としての臨床医の基礎的要素を偏りなく指導します。



北九州看護大学校（敷地内併設）



新生児センター（NICU、GCU）



救急外来



小倉城

小倉医療センターのある街

食べ物が安くて美味しい、そして祭りやイベントの多い街

福岡県北九州市のほぼ中央に位置し、現在は区にその名をとどめる小倉。東には足立山を望める。観光スポットとしては、1995年にオープンした門司港レトロが有名。明治初期から大正にかけて造られた建物が立ち並ぶ。敷地内には国の重要文化財である木造の門司港駅舎や九州鉄道記念館、出光美術館、門司港美術工芸研究所などがあり、レトロな雰囲気を楽しめる。毎週末にはガイドが小倉の街を案内する門司港レトロツアーなどもある。無料のツアーも用意されているので、一度気軽に参加してみてもいいだろう。

小倉のシンボルといえば小倉城だ。初期天守の

望楼に通じる外観構造「唐造り」の名城として知られる。その小倉城を中心とする勝山公園は、きれいに整備された公園で、都会の中のアオアシだ。図書館や遊具もあり、子どもから年配の方まで楽しめる市民の憩いの場となっている。勝山公園内には北九州主審の作家、松本清張記念館もある。かつて住んでいた家を再現し、生い立ちから作家活動にいたるまで、さまざまなことがわかる。

高級料亭から庶民の台所まで、北九州市民の胃袋を一手に引き受けるのは旦過（たんが）市場。何でもあるが、おすすめはやはり魚介類。新鮮な近海物しか置かないという魚屋も多いとか。



Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

あわら病院

在宅医療支援をスムーズに行い、
地域に密着した診療を最期まで行う

当院は障害児（者）医療、血液・免疫医療、長寿医療を中心とした専門医療に取り組んでいます。特色としては、在宅医療支援をしていることです。

平成21年より、訪問医療・訪問看護を開始。平成27年に立ち上げた訪問看護ステーション「アイリス」では、病気や障害があり、家庭で療養しながら生活されている方に、生活の質を重視したサポートを実施しています。看護師が訪問看護に出向くので、コミュニケーションが取りやすく、情報共有もでき、患者さんのケアや診療の管理を安心して行うことができます。

オーストラリアでは地域の病院が、在宅患者用の病床を持ち、入院治療後、回復すれば自宅に戻り、看護師が訪問してケアを行います。それと同じかたちのものが当院の在宅医療療養病床です。退院後は入院患者を診た看護師が、訪問看護に行きますので、安心して療養できるのではないのでしょうか。

もう1つ、在宅医療を支えるのが「医療介護連携支援クラウドシステム」です。地区の医師会が提供している「カナミックネットワーク」というシステムを使っているのですが、医療スタッフのみならず、家族も含めて関係者全員が情報共有できます。

実は、我々は直接、介護事業に携わることはできません。そこで、提携在宅介護支援事業所というのをつくりました。呼んだらすぐに提携してい

るケアマネジャーが病院に来てくれます。これにより手続きなどのアプローチが格段とよくなりました。

もう1点、これはがん医療になりますが、将来的にやりたいのは在宅輸血です。訪問看護で在宅輸血をすでに実施している施設もあるようですが、一部の血液腫瘍は週に1回輸血が必要ですし、当院でもそういう方に在宅輸血のサービスが提供できるようになればという思いがあります。

そういったことも含め、可能な限り地域の方に良質で、適切な価格で、効率的な医療を提供して、皆さんに喜んでもらえるような病院にしたいと思っています。その中には当院の職員も含まれます。私たちが仕事をする中で、皆さんに喜んでいただき、やりがいや喜びを感じられる施設をつくっていききたいというのが、私の一番の願いです。

最近、若い先生によく言っていることは、患者さんの懐の中に入って診療してほしいということです。地域の特徴として、人と人、患者さんと医者との結びつきはかなり強いんです。それは地域に密着した医療の特徴ではないかと思っています。そういう医療を経験するのは、昔のいわゆる診療所だと思いますが、一般的な診療所で看取りまで行うのが難しい時代になってきました。今後は新しい関係の中から、質の高い、地域に密着した医療というものを教えられる、あるいは経験していただけるような体制を提供していきたいと考えています。若い先生方にも是非、それを勉強していただければと思います。



院長PROFILE

津谷 寛 (つたに・ひろし)

1981年三重大学医学部卒業。

1986年福井医科大学（現・福井大学）附属病院第一内科助手、1993年米国アルゴン国立研究所細胞工学センター研究員（非常勤）、1995年福井医科大学附属病院第一内科講師を経て、2003年国立療養所北潟病院（現・国立病院機構あわら病院）院長に就任。

あわら病院 DATA

■ 所在地

福井県あわら市北潟238-1

<http://www.awara-hosp.jp/>

■ 病床数

172床

■ 診療科目

内科／リウマチ科／循環器内科／血液・腫瘍内科／老年内科／神経内科／小児科／外科／皮膚科／整形外科／眼科／放射線科／研究検査科

■ 研修の特色

力を入れている領域は、医療過疎地診療所としての在宅医療、嚥下機能評価とリハビリテーション、延命治療やがん終末期の意思決定支援です。また、重症心身障害児（者）・血液腫瘍・神経難病・長寿医療のセーフティネット症例、地域医療機関からのcommon disease症例、「地域包括ケア病床」を利用した高次医療機関からの紹介など、多彩な症例が経験できます。



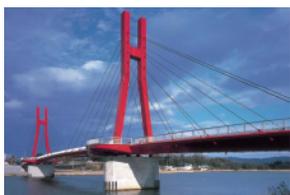
運動訓練室



5Fナースステーション



訪問看護ステーション



北潟湖

あわら病院のある街

海と山、温泉などに恵まれ、自然が満喫できて海の幸も楽しめる街

あわら市は福井県の北端に位置し、福井平野から加越台地にかけて広がる市。また、病院の付近一体は、越前加賀海岸国定公園に指定されており、眼下には日本海と並ぶように南北に細長く伸びる北潟湖が広がり、自然に恵まれた立地だ。夏は気温が高く、日照時間も長い、冬は曇りの日が多く、雪も多い。ただ、嶺南は対馬海岸の影響を受けて冬でも比較的暖かいという。

あわら温泉駅前には無料の足湯、「芦湯」がある。「これで無料?」と思うほど立派な建物で、無料駐車場もある。隣には湯けむり横丁という屋台村があり、夜は提灯に灯りがともっていい感じ

だ。近くにある「だるまや菓舗」というお土産屋は、芋きんづばなどの地元の名物だけでなく、フルーツが入った最中など、オリジナルのお菓子や懐かしい駄菓子などもある。一度、のぞいてみるのも楽しそう。

福井県を代表するスポットとして有名なのが「福井県立恐竜博物館」だ。多くの恐竜の化石を発見してきたことから、平成12年に日本で初めて恐竜の展示を中心とした博物館として誕生。40体以上の恐竜の全身骨格があり、見ごたえ満点。また、恐竜の森を再現した大型ジオラマもあり、恐竜好きにはたまらない空間となっている。



(平成30年2月15日調査時点)

専門研修プログラム申請状況については、NHO NEW WAVE vol.29 を参照

12：放射線科 13：麻酔科 14：病理科 15：臨床検査科 16：救急科 17：形成外科 18：リハビリテーション科 19：総合診療科

病院名	領域番号	一次、二次登録者数(採否決定後)																			連携施設・特別連携施設としてプログラム参加																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
敦賀医療センター																					○	○			○		○	○			○	○	○	○					○
あわら病院																				0	○																	○	
東近江総合医療センター																					○	○	○		○	○	○	○	○		○	○			○			○	
紫香楽病院																					○																		
京都医療センター	5				3	0	0					2					0			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		
宇多野病院	0																			○																			
舞鶴医療センター																				○	○		○	○				○	○	○								○	
京都府病院																				○	○		○							○									
大阪医療センター	10		1		1															○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
近畿中央胸部疾患センター																				○																		○	
刀根山病院																				○																			
大阪南医療センター	4																			○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
神戸医療センター	4																			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
姫路医療センター	1																			○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
兵庫あおの病院																				○																			
兵庫中央病院																				○			○	○															
奈良医療センター																				○																		○	
やまと精神医療センター				1																			○																
南和歌山医療センター																				○		○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
和歌山病院																				○	○		○															○	
鳥取医療センター																				○			○																
米子医療センター																				○	○		○		○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松江医療センター																				○																		○	
浜田医療センター																				○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岡山医療センター	9				1															○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
南岡山医療センター																				○	○		○																
呉医療センター・中国がんセンター	0							0												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
福山医療センター	1																			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
広島西医療センター																				○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
東広島医療センター																				○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
賀茂精神医療センター																							○																
関門医療センター																				○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
山口宇部医療センター																				○			○															○	
岩国医療センター	2																			○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
柳井医療センター																				○	○		○																
東徳島医療センター																				○			○																
徳島病院																				○	○																	○	
高松医療センター																				○																		○	
四国こどもととなの医療センター		1											0							○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
四国がんセンター							1													○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
愛媛医療センター																				○			○															○	
高知病院																				○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小倉医療センター																				○	○	○	○	○	○	○													
九州がんセンター																				○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
九州医療センター	1				0															○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
福岡病院																				○	○	○																○	
大牟田病院																				○			○																
福岡東医療センター	6																			○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
佐賀病院																				○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
肥前精神医療センター					5																		○																
東佐賀病院																				○	○			○															
嬉野医療センター																				○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
長崎病院																				○			○																
長崎医療センター	1	2				1										0	0			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
長崎川棚医療センター																				○			○	○				○	○									○	
熊本医療センター	0											0				0				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
熊本南病院																				○			○															○	
菊池病院																							○																
熊本再春荘病院																				○	○		○	○														○	
大分医療センター																				○			○	○				○										○	
別府医療センター					0															○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
西別府病院																				○	○																		
宮崎東病院																				○			○	○															
都城医療センター																				○	○		○	○	○		○	○											

国立病院機構病院における平成30年度 新専門医制度 専攻医の採用状況報告

国立病院機構本部医療部人材育成キャリア支援室長 福泉公仁隆

平成30年4月から新専門医制度による研修がはじまります。平成29年10月より専攻医の一次登録開始、12月15日に採否の決定、12月16日より二次登録開始、平成30年2月15日に採否が決定。平成30年3月に初期研修を修了するほとんどの医師が19領域の専門医を目指すことになりました。国立病院機構の142病院中44施設が16領域106の基幹プログラムを有しており、136施設（19領域904プログラム）が他の基幹施設との連携・特別連携施設に選ばれています。

1次、2次登録採用後（平成30年2月15日）の国立病院機構の基幹プログラム施設の採用状況や、各領域別の連携・特別連携施設を本号P5～P6に掲載しています。

国立病院機構全体で計137名の専攻医が採用されました。地域の事情や領域により基幹プログラムの専攻医の登録数には偏在がありますが、領域別では、内科85名、精神科14名、外科11名など（右表を参照）が採用されています。

2019年度の専攻医の募集は、2018年9月に開始予定です。専門医取得を目指す初期研修医のみならず、将来の自分のキャリアを考え、研修先を選択する必要があります。国立病院機構における各病院の研修内容等は、「2017国立病院機構研修医・専攻医募集ガイドブック」(https://www.hosp.go.jp/education/cnt1-0_00020170512.html)、「2018国立病院機構研修医・専攻医等ガイドブック（2018年5月中旬に国立病院機構ホームページ教育研修事業に掲載予定）」を参照いただき、各施設の基幹プログラム統括責任者にご相談ください。

専門19領域	基幹施設としてプログラム数	専攻医募集数 募集定員	登録採用者数 (1次、2次)
内科	30	201	85
小児科	4	18	5
皮膚科	1	2	1
精神科	9	28	14
外科	10	40	11
産婦人科	6	19	5
整形外科	3	8	1
眼科	2	5	1
耳鼻咽喉科	0	0	0
泌尿器科	1	2	1
脳神経外科	1	2	1
放射線科	1	1	0
麻酔科	8	16	4
病理	1	1	0
臨床検査	0	0	0
救急科	7	20	5
形成外科	2	3	0
リハビリテーション科	0	0	0
総合診療科	20	49	3
	106	415	137

表 平成30年度 国立病院機構病院領域別専攻医採用状況

平成30年度本部研修 (医師対象) 日程

研修名	平成30年度(予定)	
	日程	場所
良質な医師を育てる研修		
病院勤務医に求められる総合内科診療スキル	H30.6.28～H30.6.29	本部研修センター
小児疾患に関する研修	H30.7.12～H30.7.13	福山医療センター
神経・筋(神経難病)診療初級・入門研修	H30.7.13～H30.7.14	千葉東病院
シミュレーターを使ったCVC研修	H30.8.10	九州医療センター
センスとスキルを身につける!未来を拓く消化器内科セミナー	H30.8.31～H30.9.1	函館病院
腹腔鏡セミナー①	H30.9.7～H30.9.8	ジョンソン&ジョンソンTSC(川崎)
呼吸器疾患に関する研修	H30.10.4～H30.10.5	岡山医療センター
肺結核・非結核性抗酸菌症・真菌症-NHOのノウハウを伝える研修	H30.10.12～H30.10.13	福岡東医療センター
循環器疾患に関する研修	H30.10.18～H30.10.19	岡山医療センター
内科救急 NHO-JMECC 指導者講習会①	H30.10.23	呉医療センター
脳卒中関連疾患 診療能力パワーアップセミナー	H30.11.2～H30.11.3	仙台医療センター
腹腔鏡セミナー②	H30.11.16～H30.11.17	コヴィディエン MIC(川崎)
神経・筋(神経難病)診療中級研修	H30.11.30～H30.12.1	兵庫中央病院
救急初療 診療能力パワーアップセミナー	H30.12.14～H30.12.15	北海道医療センター附属札幌看護学校
小児救急に関する研修	H31.1.31～H31.2.1	岡山医療センター
内科救急 NHO-JMECC 指導者講習会②	H31.2.5	京都府医療トレーニングセンター
チーム医療研修		
チームで行う小児救急・成育研修	H30.11.1～H30.11.2	岡山医療センター
シミュレーション指導者教育研修	H31.2.14～H31.2.16	本部研修センター
重症心身障害児(者)医療に関する研修		
重心医療について知ってみよう	H30.10.11～H30.10.12	長良医療センター
重心医療の現場・実践編	調整中	福岡病院

日程等は現時点での予定ですので、変更もありえます。各研修開催約2ヶ月前に募集を開始しますのでお申し込みは病院担当事務にご確認ください。